

鎌倉市 土砂災害ハザードマップ

大船・玉縄地域



風水害時のわが家の避難行動 (マイ・タイムライン)

家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動(マイ・タイムライン)」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名前	電話番号	必要事項(常備薬等)	避難の際、支援してくれる人
			名前: 電話: 住所:

■必要項目に記載し、形にチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認
 自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ある ない 自宅は洪水による家屋倒壊のおそれのある区域内にあるか ある ない
 洪水浸水深は: m 浸水継続時間は: 時間
 自宅は内水氾濫想定区域内にあるか ある ない 自宅付近に道路陥没箇所はあるか ある ない
 自宅は土砂災害警戒区域内(急傾斜地、土石流)にあるか ある ない

■避難するタイミング、避難する場所 実際には避難するときと避難するのかが、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。
 ● 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたら、避難情報を入力したらわが家は、
自宅に待機し、状況に応じて避難準備します。 (指定避難所、親戚、知人宅など)へ水平避難します。 移動時間:
 (車やバイクで外出せず、情報収集に努めます)
 ● 水平避難の途中で危険を感じたら、
 へ緊急避難します。 移動時間:

※内水氾濫、土砂災害、洪水は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報	(参考) 気象庁等の情報
警戒レベル 5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報 土砂災害警戒情報 氾濫発生情報
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報 極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報
警戒レベル 3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒 (警報級) 氾濫警戒情報
警戒レベル 2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報 注意 (注意報級) 氾濫注意情報
警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報 (警報級の可能性)

■鎌倉市の情報 (参考) 気象庁等の情報
 ■台風情報 河川氾濫が想定される大規模な嵐等
 ■台風に関する気象情報 情報の入手先は裏面の「情報の入手先」をご覧ください。
 ■大雨注意報
■洪水注意報
■氾濫注意情報

■避難する際の注意点を家族で考えましょう。
 Point 「雨が降り始める前、家計を2階以上上げる。」「洪水被害を防ぐために上のうを履き替える。」などおまかせください。

避難のタイミングは、早めに！逃げ遅れないよう、空回りをおそれず早めの避難を心がけましょう。

もしも逃げ遅れたら... 災害がすでに発生しています。命を守るための最善の行動をとる!! 外に避難することができるとは限らない場合は、その高い1階室内の安全な場所で安全を確保してください!!

鎌倉市防災・安全情報メール
市では、気象庁の発表情報や市の防災情報などを、携帯電話やパソコン等へメールで配信するサービスを行っています。

【登録方法】左のQRコードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。

風水害時に取るべき行動



避難の心得

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難(水平避難)

避難所など

土砂災害(特別)警戒区域内で、特にがけ近辺に自宅のある方は下記の「情報の入手先」を参考に情報入手し、立退き避難を心がけましょう。立退き避難(水平避難)は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保(垂直避難)

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保(垂直避難)をしましょう。

立退き避難の心得

- 警戒レベル3で高齢者等は避難を! 立退き避難は、天候が荒れる前に行うことが大切です。市から警戒レベル3相当の情報が発表されたときに、速やかな避難行動をとりましょう。
- 避難判断は自分で! 気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。
- 移動手段は徒歩で! 車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなるおそれがあります。

その他避難時の留意事項

- 避難時は動きやすい服装で! 特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。
- 移動は二人以上で! 一人だといざという時に助け合えません。
- 夜間の避難は要注意! 夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。
- 非常持出品を準備して避難!

逃げ遅れたら

斜面から離れた部屋や、2階の部屋に移動して、自分の身を守る!

立退き避難を判断する情報 (土砂災害の危険度分布)

警戒レベルは、テレビやラジオ等で発表されますが、土砂災害の危険度に関する情報は気象庁や神奈川県ホームページで確認できます。

神奈川県土砂災害警戒情報システム

神奈川県土砂災害警戒情報システム 検索

https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/php/map.php?mapmode=kuiki

土砂災害の危険度は、4段階の色で表示されます。

土砂災害発生のおそれ
 避難準備の目安(2階)
 今週の雨量に注意
 スマートフォンの特別警戒区域

色が変わったら注意

土砂災害の前兆現象

土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。近年、「集中豪雨」や「局地的大雨」が増えていますが、これらが発生した時は土砂災害の危険性も高まるので、特に注意が必要です。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

- がけから水が湧き出ている
- 音段登っている湧き水が濁ってくる (地盤の内部に新たな水の通り道ができた、または大量の地下水が流れたことで地盤が広がったために見られる現象です)
- がけに亀裂ができる (地表水の浸透や地下水の湧出、樹木の根の伸長等により、掘削目的の亀裂が広がっているために見られる現象です)
- がけから小石がバラバラ落ちてくる (がけ表面の中で結合が弱い箇所から起きる現象です。亀裂が多いとがけ崩れの発生の可能性が高まります)

土石流

- 立木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる (大きな土砂がぶつかる音や立木の折れる音などが、下流まで聞こえることがあります)
- 急に川の流れが滞り、流木が漂着する (上流で発生した土石流が原因で、川に流入した土砂や樹木が下流へ流れきたときに見られる現象です)
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる (上流で崩れた土砂により川を塞ぐ土砂がたまり、川の水を貯めているために見られる現象です)

前兆現象に気づいたら、周囲の人にも伝え、直ぐに避難をすることが大切です。

風水害時の情報と行動の目安

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報	(参考) 気象庁等の情報
警戒レベル 5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨特別警報 土砂災害警戒情報 氾濫発生情報
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報 極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報
警戒レベル 3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒 (警報級) 氾濫警戒情報
警戒レベル 2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報 注意 (注意報級) 氾濫注意情報
警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報 (警報級の可能性)

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル〇(3~5)相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

情報の入手先

各情報源から入手できる情報	気 気象情報	川 河川水位情報	土 土砂災害情報	避 避難情報
テレビ ラジオ	テレビ ケーブルテレビ(J:COM湘南・鎌倉) *dボタンを押すと情報を確認できます。	ラジオ 鎌倉エフエム放送(82.8MHz)		
登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス	登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス	登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス	登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス	登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス
メール (携帯電話など)	登録 携帯電話事業者 不要 緊急連絡メール	登録 携帯電話事業者 携帯電話事業者により、気象庁、各省庁、地方公共団体等が配信する災害情報が携帯電話に自動的に配信されます。	登録 鎌倉市ホームページ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/	登録 神奈川県土砂災害情報ポータル http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/
インターネット	気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/index.html	国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/	気象庁ホームページ http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/	気象庁ホームページ http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
防災 行政用無線	気象庁の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。0120-24-0467(無料) (補完対策:消防テレホンサービス) 防災行政用無線の放送内容を電話で確認できます。			

土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼすほどの土砂災害の危険性が高まったとき、市が発令する避難指示などの判断や、住民が自主避難を行う判断の参考となるように、神奈川県と横浜地方気象台が共同して発表する防災情報です。土砂災害の危険が高まっている詳細な領域については、大雨警報(土砂災害)の危険度分布を確認してください。

周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難をお願いします。

土砂災害からの避難

もし逃げ遅れたら...

屋外への避難が困難な場合、斜面から離れた部屋や2階の部屋に移動して、自分の身を守る!

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 (mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
状況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

風水害時の避難施設 (大船・玉縄地域)

【拠点】	指定避難所 (三二防災拠点)	風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所で、市立の小・中学校を指定しています。	【補助】	補助避難所(予備避難所)	【福祉】	福祉避難所		
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
大船地域	小坂小学校	小袋谷 587	玉縄地域	玉縄小学校	玉縄 1-860	大船地域	朝日生命大船営業所	台 1-3-9
	大船小学校	大船 2-8-1		関谷小学校	関谷 468-1		戸部会館	岡本 2-3-20
	今泉小学校	今泉 2-13-1		榎木小学校	榎木 1		大船フアラワーセンター	岡本 1018
	大船中学校	大船 4-1-25		玉縄中学校	岡本 1100		玉縄学習センター(玉縄行政センター内)	岡本 2-16-3
	岩瀬中学校	岩瀬 840					玉縄青年会館	玉縄 1-2-1
大船地域	鎌倉学園	山ノ内 110	玉縄地域	玉縄青年会館	玉縄 1-2-1	大船地域	大長寺	岩瀬 1464
	鎌倉女子大学岩瀬キャンパス	岩瀬 1420		榎木公会堂	榎木 421-1		岩瀬公会堂	岩瀬 551-2
	県立大船高等学校	高野 8-1		久成寺	榎木 494		岩瀬保育園	岩瀬 1526
玉縄地域	栄光学園	玉縄 4-1-1				今泉町内会館	今泉 2-4-28	
						今泉町内会館	今泉台 4-6-13	

必要に応じて市の判断で開設される避難所であり、国・県立及び私立の学校等を指定しています。

一般の避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する施設です。

大規模災害が発生又は発生が予想される場合に、状況に応じて市が判断し、指定避難所(三二防災拠点)や補助避難所(予備避難所)に加えて開設する避難所です。